

月見の里学遊館市民サポーター募集

月見の里学遊館では、市民サポーターが「食」、「ものづくり」、「文字・文・和」、「舞台芸術」、「フィットネス」の分科会に分かれ、様々なコンサートや各種ワークショップの企画運営に参加し、新しい取り組みが活発に行われています。市民サポーターとなって自分の特技や長所を生かしてみたい方、自分の力を人の役に立ててみたい方など、お待ちしております。

☎月見の里学遊館 ☎49-3400

ものづくりの分科会



ものづくりの分科会は、物をつくる達成感や自分の手づくりしたものを飾る喜びを体験してもらうワークショップを開催しています。

子どもたちが、新しい発見をしたり、協力して作業をしたりするワークショップや、ボランティア団体と協働したワークショップを企画運営しています。



食の分科会



食の分科会は、様々な料理の体験をしたり、プロの技を学んだりしています。

また、普段あまり料理をしない男性や子どもたちに調理の楽しさや食べることの大切さを知ってもらうためのワークショップを開催しています。

サポーターの興味のあるものや、リクエストをもとにして、ワークショップの準備や講師のお手伝いをしています。

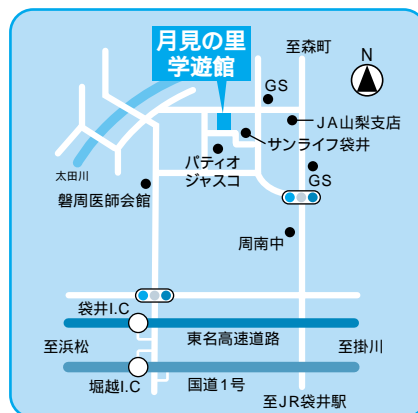
参加した皆さんの喜んでる姿を見るのが、楽しみです。



月見の里学遊館とは

月見の里学遊館（袋井市上山梨）は、市民参加型の生涯学習センターとして平成13年に誕生しました。

施設は、市民サロンのほか、うさぎホール、各種ワークショップ、図書館分室、集会室などがある「生涯学習棟」と温水プール、トレーニングルーム、フィットネスルームなどがある「水玉プール棟」に分かれています。



主役は、市民の皆さんです

現在は、約30人のサポーターの皆さんが「食」、「ものづくり」、「文字・文・和」、「舞台芸術」、「フィットネス」の分科会に分かれ、ワークショップの企画や運営に参加しています。

ワークショップとは、参加者一人ひとりが「考える」、「調べる」、「発表する」、「体験する」など、様々な活動に主体的に参加し、心と頭と体で学ぶ参加型体験学習のことです。

市民サポーターの声



飛躍のまちづくり実行委員長
太田厚利さん
(川井西第二)

学遊館であなたも活躍しませんか

月見の里学遊館が開館5年を経過し、以来、多種多様な事業が展開されてきました。ワークショップを中心として、多くの市民が参加し、その成果を多方面にわたり発表してきたことは大きな実績だと思えます。

私も市民サポーターとして活動するなかで、食・知・心の栄養や人と人のふれあいにより、成長することができました。

興味がある方は、是非参加してみてください。



食の分科会
加藤忍さん(下貫名)

料理の楽しさ再発見

市民サポーターとして活動するようになり、約2年になります。定年を迎え、妻一人に家事を任せられないと思ったのが、食の分科会に入っただけです。

「男の料理ワークショップ」の企画運営をし、私のように料理の腕を磨きたい皆さんの男性の皆さんに喜んでもらっています。

市民サポーターに興味のある方は、是非参加してみてください。



ものづくりの分科会
井谷伸子さん(法多)

特技や技術より
気持ちが大切です

月見の里学遊館が完成した当初から、市民サポーターとして活動しています。クラブ関係の仕事をしていたので、「クリスマスコンプリート」などのワークショップの企画運営にかかわってきました。お子さんから高齢者の方まで、幅広い世代の方との交流は、とてもいい刺激になります。

特技や技術がなくても、何かしたいという気持ちがあれば十分です。市民サポーターとして、私たちが一緒に活動してみませんか。

文字・文・和の分科会



文字・文・和の分科会は、日本伝統文化を気軽に体験し、身近な生活に取り入れるため、お茶のいただき方や着物の着付けなどのワークショップを開催しています。



季節にあわせ「お正月飾り」や「つるし雛」などを手作りするワークショップも開催しています。



舞台芸術の分科会



舞台芸術の分科会は、うさぎホールでのコンサートやワークショップなどを企画し、その運営を行っています。今年も全体会議やジャンルごとの検討会で、意見を出し合い、クラシックコンサートやファミリーミュージカル、落語など様々な内容のイベントを企画しています。



フィットネスの分科会

フィットネス分科会は、市民の健康づくりと自分の健康づくりを目的として、いろいろな健康づくりのプログラムを企画しています。サポーターが3つの「わ」(輪・和・話)を大切に、いつもワクワクした気持ちで活動しています。

